



シリーズ

武雄の治水

vol.39

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

公共施設を活用した雨水貯留浸透施設

市では公園や体育施設、学校の校庭を活用した雨水貯留浸透施設等の整備を検討・実施しています。

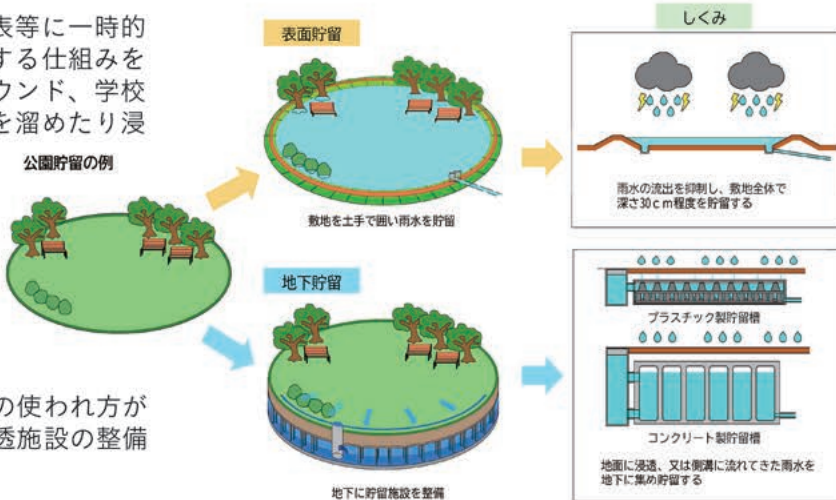
●雨水貯留浸透施設ってなに？

雨が一気に川へ流れ込むのを防ぐため、地表等に一時的に雨水を溜めたり、地中にしみ込ませたりする仕組みを利用した施設です。公園や体育施設のグラウンド、学校の校庭などは、その土地が広く、多くの水を溜めたり浸透させることができるので、雨水貯留浸透施設に適しています。

そのため、市内にある数多くの公共施設を活用して、施設の整備を進めています。

●どのような施設ができるの？

雨水を溜める方法には、敷地の周囲を土手で囲んで地表に溜める方法、地下空間に溜める方法があります。それぞれの施設の使い方が異なるため、その施設に合った雨水貯留浸透施設の整備を行います。



現在、一ノ坪公園貯留施設（R8 年度予定）や永島地区遊水公園（R9 年度予定）の事業を進めており、今後も床上浸水ゼロに向けて着実に整備を進めていきます。

●田んぼダムの取り組み

市では、令和4年度から「田んぼダム」に取り組んでおり、今年度も165ha（ケーブルワンスポーツパーク約230個分）の水田で実施を予定しています。

「田んぼダム」は、佐賀県内での取り組みが拡大しており、令和6年度には県全体で2,600haと九州最大の取組面積になりました。このように取り組みが広がったのは農家の皆様のご協力によるものです。

市では田んぼダムに加え、ため池の治水活用など農業用施設を活用した治水対策を積極的に進めております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。



田んぼがダムの役割をすることで、大雨時に水路へ流出する水を抑制！



調整板を設置し田んぼダム実施

未実施

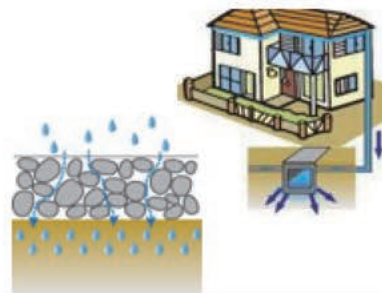
補助金のご紹介

大雨時に、多量の水が河川や水路に流出することを一時的に防ぐため、各家庭や事業所などで行われる雨水を「ためる」「浸透させる」対策への補助を行います。事業所などで、敷地内に貯留対策が必要な場合にも活用できます。※工事の実施前に申請書を提出してください。

●雨水貯留浸透施設整備奨励金

【補助率】整備費用の2/3

- 【内 容】①雨水貯留広場の整備(上限100万円/件) ※用地取得費は除く
②雨水浸透柵(上限2万円/基)
③浸透管の整備(上限7,000円/m) ※②+③で1敷地総額20万を限度
④浸透性舗装等の整備(上限500円/㎡) ※1敷地総額25万を限度



詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

